

ときわ病院「在宅支援課」始動！

看護学科教員が研修会の講師を務める

- 本学の連携病院でもある医療法人関田会ときわ病院において5月16日(木) 17時～約2時間半にわたり「在宅ケアの特徴をふまえた訪問マナー研修」が行われました。
- ときわ病院は、2019年4月に「在宅支援課」開設され、病院の理念である「地域の病院・診療所と密接に連携して安心できる医療を提供します」の実現に向けた一歩を踏み出されました。その動きの中で医師をはじめ看護師、理学療法士等の在宅への訪問が始まっています。



- そこで、在宅支援課の開設準備からアドバイザーとして関わっておられる看護学科の在宅看護学を担当の畑教授に講師としての依頼があり、地域から選ばれる在宅支援の担い手としての研修会が始まりました。• 研修会には看護部長をはじめ理学療法士、ケアマネジャー、医療ソーシャルワーカー、事務等多職種の20名程度の参加がありました。当日は、在宅場面を設定した環境の中で講義を踏まえ実際のマナーを教員の鶴飼も加わり臨場感のある演習を行いました。



- 研修後「今まで意識していなかった病院と在宅の違いがよくわかり、在宅の療養者や家族の立場に立ったマナーを実践できそうだ」「継続して実際に役に立つ在宅支援の研修を受けたい」という意見が多く聞かれました。
- 今後も地域に開かれた大学として在宅支援への活動を応援したい。

